科目名	地　理 Geography			担当教員	権藤　典明		
学　年	１年	学　期	通　年	履修条件	必修	単位数	２
分　野	一　般	授業形式	講　義	科目番号	13120002	単位区分	履修単位
学習目標	世界の諸地域について、その地域の自然環境、民族と社会や産業のありように関して理解を深めてもらうことを目標とする。						
進め方	プリントを用いて、基本的な事項を説明していく。ハイサーグラフや人口ピラミッドの作成など随時作業学習を取り入れる。						

学習内容	学習項目（時間数）	学習到達目標
	１．東アジア(10) 朝鮮半島、中国の社会と文化 中国の経済発展、台湾とホンコン ２．東南アジア(6) 熱帯気候、社会と文化 ＡＳＥＡＮ、産業の発展	・熱帯気候、多民族国家と民族問題、人口問題、農業の近代化、中国やＮＩＥｓの経済発展、ＡＳＥＡＮについて、基本的な事項を理解している。 ・学習・教育目標：(A)
	前期中間試験（2）	
	３．南アジア(8) 社会と文化、人口問題 産業の発展 ４．西アフリカ・北アフリカ(4) 乾燥気候と農業、社会と文化 石油産業の歩み ５．中・南アフリカ(2) 社会と文化、モノカルチャー経済	・乾燥気候と砂漠化、宗教と社会問題、人口問題、石油資源と資源問題、モノカルチャー経済について、基本的な事項を理解している。 ・学習・教育目標：(A)
	前期末試験	
	６．ヨーロッパ(12) 熱帯気候と亜寒帯気候、平野と山地 社会と文化、ＥＵ、共通農業政策 近代工業の発達 ７．ロシア連邦と周辺諸国(4) 自然と開発、民族問題とソ連邦の崩壊	・温帯気候と亜寒帯気候、世界の大地形、民族問題と現代国家の動向、農業類型と共通農業政策、工業の立地と工業地域について、基本的な事項を理解している。 ・学習・教育目標：(A)
	後期中間試験（2）	
	８．アングロアメリカ(10) 建国の歴史と社会問題、都市と村落 農業地域、地下資源と工業地域、カナダ ９．オセアニア(4) 建国の歴史、産業の発達	・新大陸の建国の歴史、メガロポリスとタウンシップ制、生産性が高い農業、工業地域の変容について、基本的な事項を理解している。 ・学習・教育目標：(A)
	後期末試験	
	答案返却（1）	

評価方法	・評価は４回の定期試験の成績を 80%、小レポートを 10%、受講態度を 10%で行う。 定期試験の成績不振者には再試験を実施する。 ・学習項目の全体評価への重みは、１～２、３～５、６～７、８～９をそれぞれ 25%とする。
履修要件	特になし
関連科目	地理（１年）　→　人文科学Ｉ（４年）
教　材	教科書：地理Ａ（東京書籍）、新詳高等地図（帝国書院）
備　考	